

公益財団法人京都市国際交流協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 千玄室

2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

3 電話番号

075-752-3010

4 ホームページアドレス

<https://www.kcif.or.jp/>

5 設立年月日

平成元年1月18日

6 基本財産

100,000千円(うち本市出えん額 100,000千円、出えん率 100.0%)

7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局国際交流・共生推進室 (TEL075-222-3072)

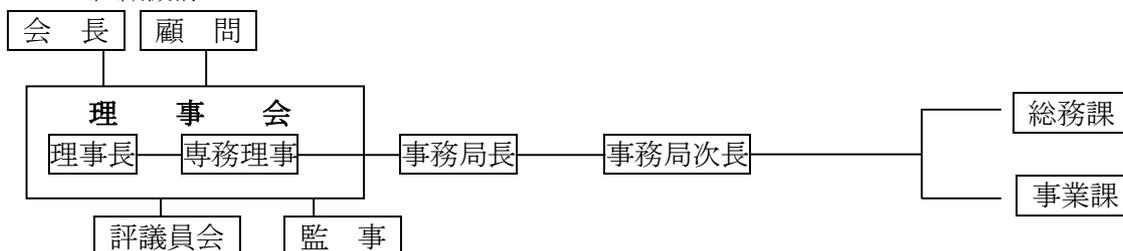
10 役員名等

- (1) 理事長
千玄室
- (2) 専務理事
藤田裕之
- (3) 理事
有田典代、小川伸彦、陳萍、高田光治、浜田麻里、西松卓哉 (総合企画局国際交流・共生推進室長)
- (4) 監事
中村健児、板原征輝 (総合企画局総合政策室長)

11 職員数

常勤職員数 19名

12 組織機構



第2 目標及び実績

1 業務面

(1) 目標及び実績

目標1 「外国籍市民等が安心して暮らせる環境整備」	
令和4年度の目標	外国籍市民等を対象にした相談事業の実施を通して、外国籍市民が地域の一員として京都市で生活し、社会に参加するための環境整備の充実を図る。外国籍市民の生活課題はより広範囲かつ深刻化するケースも増えており、電話通訳や相談対応の中で、速やかに必要などところにつなぐ必要があるため、公的機関との連携をより強化するとともに、情報提供や相談対応にあたり問題解決につなげる。
令和4年度 の取組結果 (※)	
令和5年度の目標	外国籍市民等を対象にした相談事業の実施を通して、外国籍市民が地域の一員として京都市で生活し、社会に参加するための環境整備の充実を図る。 また、外国籍市民等へ国際交流会館のサービスなどを紹介するチラシを区役所において転入者に配布等することにより、外国籍市民等への情報発信を強化する。 外国籍市民の生活課題はより広範囲かつ深刻化するケースも増えており、電話通訳や相談対応の中で、速やかに必要などところにつなぐ必要があるため、公的機関との連携をより強化するとともに、情報提供や相談対応にあたり問題解決につなげる。

指標	「相談事業」の対応件数						(単位：件)	
目標と実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
		5,763	6,000	4,425	5,000		6,000	

指標	近畿地域国際化協会との「防災研究会」等の開催件数						(単位：件)	
目標と実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
	5	5	5	5	5		6	

目標2 「京都の国際交流拠点としての取組」	
令和4年度の目標	姉妹都市については、図書資料を含む既存資料の紹介等を通して引き続き市民への周知を図る。世界歴史都市連盟のPRについては、加盟都市を持つ国を紹介する絵本展等の開催を引き続き行う。 また、ロシアによる軍事侵攻の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキーウをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携した取組を行っていく。
令和4年度 の取組結果 (※)	

令和5年度の目標	<p>姉妹都市については、京都市とケルン市が姉妹都市提携60周年を迎える年であることから、京都市が周年事業を実施するに当たり、当協会としても連携し、図書資料を含む既存資料の紹介等を通して引き続き市民への周知を図る。世界歴史都市連盟のPRについては、加盟都市を持つ国を紹介する絵本展等の開催を引き続き行う。</p> <p>また、ロシアによる軍事侵攻の影響を受け、京都市の姉妹都市であるキーウをはじめウクライナ各都市から避難された方々を温かく受け入れ、支援を行うため、京都市や企業、関係団体等と連携し、継続して取組を進める。</p>
----------	--

指標	姉妹都市関連事業や世界歴史都市連盟のPR活動の実施回数						(単位：回)	
目標と実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
	5	3	5	5	5		5	

目標3「国際交流や多文化共生に携わる市民や民間団体の育成・支援」	
令和4年度の目標	<p>コロナ禍で多くの制限はあるが、ボランティア活動を維持継続し、「ボランティアオリエンテーション」にて新たな人材を募集するとともに、研修を実施し、担い手育成につなげる。</p> <p>また、企業等とのコラボレーション事業については、社会状況等の変化により、継続してきたイベントの実施が難しくなっているが、引き続き共催事業者を募集し実施していく。</p>
令和4年度 の取組結果 (※)	
令和5年度の目標	<p>コロナ禍で多くの制限はあるが、ボランティア活動を維持継続し、「ボランティアオリエンテーション」にて新たな人材を募集するとともに、研修を実施し、担い手育成につなげる。コロナ禍において新たに取り組んだ、オンラインを活用した事業やボランティアミーティングを継続して実施する。また、費用対効果などを考慮し、紙媒体による情報発信の見直しなどを行う。</p> <p>また、企業等とのコラボレーション事業については、社会状況等の変化により継続してきたイベントの実施が難しくなっているが、引き続き共催事業者を募集し実施していく。</p>

指標	登録ボランティア主催イベント開催回数						(単位：回)	
目標と実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
	2,430	1,780	1,800	2,268	1,800		1,800	

指標	企業等とのコラボレーション事業開催件数						(単位：件)	
目標と実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
	7	5	7	2	6		6	

(2) 事業実績（令和3年度）

ア 市民への情報提供、相談事業

- (ア) 情報サービス関連
- (イ) kokoPlaza（図書・資料室）の運営
- (ウ) 相談関連（「京都市外国籍市民総合相談窓口」、「新型コロナに関する情報発信」等）

イ 国際交流団体等との連携事業

- (ア) 京都国際交流団体情報ネットワーク（kokoka 国際交流団体ねっと）
- (イ) 企業等コラボ事業
- (ウ) 「国際交流活動応援企業・団体」登録制度
- (エ) ウクライナ・キーウ（キエフ）支援事業
- (オ) 名義後援等による国際交流団体活動の支援

ウ 共生社会を促進していくための担い手育成事業

- (ア) ボランティア活動育成事業
- (イ) 国際交流市民活動グループ育成支援事業「COSMOS」
- (ウ) インターン受入事業
- (エ) 社会見学受入事業
- (オ) 京都光華女子大学講師派遣

エ 異文化理解・多文化共生社会への促進事業

- (ア) 異文化理解を促進するための交流活動
- (イ) 多文化共生社会へのまちづくり

オ 留学生との協働、留学生への支援、留学生との交流事業

- (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
- (イ) 張鳳俊奨学基金奨学金支給事業
- (ウ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
- (エ) 留学生のための就職支援事業（新型コロナウイルス感染予防のため中止）
- (オ) 留学生受入環境整備事業
- (カ) 外国人歓迎会（新型コロナウイルス感染予防のため中止）

カ 広報・出版・広告事業

- (ア) 年報『Annual Report』、催物案内『イベントカレンダー』及び『LIFE IN KYOTO』の発行
- (イ) 『kokoka 子育て応援 BOOK』の配布
- (ウ) kokoka 京都市国際交流会館サービス案内冊子『あなたのくらしをサポートします』配布
- (エ) 留学生向け「市役所から送られてくる手紙（書類）の説明」作成
- (オ) 「日本語学習に関するアンケート報告書」作成
- (カ) インターネットによる情報受発信事業
- (キ) SNSによる情報受発信事業
- (ク) 広告関係

キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業

- (ア) 姉妹都市コーナー・展示室の運営

ク 京都市国際交流会館の運営

- (ア) 貸施設関係
- (イ) kokoka 舞台芸術活動応援事業（グランドピアノ体験イベント）
- (ウ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
- (エ) 団体事務室の入居団体との連携
- (オ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画

ケ 理事会等の開催

2 財務面

(1) 目標及び実績

目標1 「持続可能な経営に向けた健全な財政運営」	
令和4年度の目標	近畿地域国際化協会連絡協議会や文化庁の補助金を申請し収入確保のための努力を続ける。
令和4年度 の取組結果 (※)	
令和5年度 の目標	令和5年度からの利用料金改定に伴う指定管理料の減額など、厳しい状況の中、近畿地域国際化協会連絡協議会や文化庁、日本財団の補助金を申請し収入確保のための努力を続けるとともに、利用者の利便性向上のため令和4年度から新たに導入した「貸館のオンライン予約受付」の周知拡大を行うなど、増収策を講じる。 さらに、上記のような自主財源確保に加え、必要経費の見直しを図り、歳入歳出の両面から健全な財政運営に努めていく。

指標	補助金の確保						(単位：千円)	
目標と 実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標	実績 (※)
	19,000	37,717	23,377	34,230	10,000		13,000	

指標	施設の貸出による利用料金収入						(単位：千円)	
目標と 実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標	実績 (※)
		37,717		34,230			43,000	

目標2 「更なる寄付金の獲得」	
令和4年度 の目標	「国際交流活動応援企業・団体」登録制度の継続と寄付金のクレジット決済ができることや税額控除対象団体であることをWebでPRし、増収につながるように努める。府民税・市民税控除団体であることもPRし、個人からの更なる寄付につなげる。オープンデイ等大きなイベントへの寄付の呼びかけや寄付月間等を実施し寄付対象者を広げるためのキャンペーンを行う。
令和4年度 の取組結果 (※)	
令和5年度 の目標	「国際交流活動応援企業・団体」登録制度の継続と寄付金のクレジット決済ができることや税額控除対象団体であることをWebでPRし、増収につながるように努める。府民税・市民税控除団体であることもPRし、個人からの更なる寄付につなげる。オープンデイ等大きなイベントへの寄付の呼びかけや寄付月間等を実施し寄付対象者を広げるためのキャンペーンを行う。

指標	寄附金の確保						(単位：千円)	
目標と実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績(※)
	2,000	3,255	3,255	2,932	3,150		3,300	

主要財務数値									(単位：千円)
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	294,153	284,710	284,619	279,335	262,740		272,712		
経常費用	310,217	272,515	312,603	286,264	283,964		293,670		
当期経常増減額	△16,064	12,195	△27,984	△6,929	△21,224		△20,958		
当期正味財産増減額	△16,144	12,125	△28,064	△6,999	△21,304		△21,038		
資産合計	-	368,110	-	367,469	-		-		
負債合計	-	119,415	-	125,772	-		-		
正味財産	-	248,695	-	241,697	-		-		
うち累積損益額	-	148,695	-	141,697	-		-		

(参考) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		R2 決算	R3 決算	R4 決算(※)	R5 予算
委託料	京都市国際交流会館の管理運営〔指定管理(公募、利用料金制)〕	195,649	192,486		178,693
	行政通訳・相談事業	4,865	4,865		5,365
	多言語情報発信サポート事業	449	377		400
	乳幼児健診等への通訳派遣	1,130	1,483		1,512
	留学生受入環境整備事業(優待プログラム、ウェルカム・パッケージ)	2,300	2,260		2,950
	ウクライナ・キーウ京都受入ネット事務局の運営支援事業	-	-		3,700
補助金	京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業	12,603	11,724		-
交付金	京都市外国籍市民総合相談窓口の整備及び運営	376	376		-
その他	京都市国際交流会館の利用キャンセルに伴う利用料の還付	10,169	2,409		-
	平和祈念事業	200	-		50

3 組織面

(1) 目標及び実績

目標1 「職員の能力向上」	
令和4年度の目標	新たに採用した職員に対し、外郭団体職員としての能力向上のために、京都市が開催する職員研修や民間が実施するZOOMセミナー等に積極的に参加する。 限られた人数による効率的な運営を目指して、有料無料を問わず職員の研修派遣回数を増やし、職員の能力向上を図る。
令和4年度 の取組結果 (※)	
令和5年度の目標	新たに採用した職員に対し、外郭団体職員としての能力向上のために、京都市が開催する職員研修や、JIAM研修、民間が実施するZOOMセミナー等に積極的に参加する。限られた人数による効率的な運営を目指して、有料無料を問わず職員の研修派遣回数を増やし、職員の能力向上を図る。

指標	職員研修派遣回数						(単位：回)	
目標と 実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標	実績 (※)
	29	29	31	25	28		29	

目標2 「職員の意識向上」	
令和4年度の目標	職員間で、コンプライアンス等の勉強会を実施する。
令和4年度 の取組結果 (※)	
令和5年度の目標	職員間で、コンプライアンス、貸館増収、広報強化について勉強会を開催する。

指標	勉強会の実施回数						(単位：回)	
目標と 実績	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標	実績 (※)
	4	2	3	2	3		3	

第3 令和4年度の経営評価（令和3年度の経営状況に対する評価）

1 所管局による評価

財務面	<p>財務面では、文化庁、経済産業省、厚生労働省等からの助成金や、新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種補助金などの外部資金に加え、「国際交流活動応援企業・団体登録制度」による寄付金の確保に取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>また、「行政通訳・相談事業」などの事業の実施において、公的機関と連携をより強化し、情報提供や相談対応を行うなど、外国籍市民等が安心して暮らせる環境整備に貢献している。</p> <p>一方で、人件費の増加などにより、今後も厳しい財務状況が想定されるため、事業規模と財務状況のバランスを考慮しつつ、既存事業のスクラップ&ビルドなどを含めた見直しを検討し、経常費用の削減に努めていただきたい。</p> <p>また、ウィズコロナで少しずつ社会活動が再開する中、収益事業の拡大、貸館施設の利用率向上に向け、利用状況の詳細な分析、広報の強化を行うなど、増収に繋げる一層の努力を求める。</p>
事業面	<p>業務面では、コロナ禍において、感染拡大防止対策をとったうえで、kokoka オープンデイ、外国籍市民等への多言語情報発信及び各種相談事業など、国際交流・多文化共生を推進する取組を実施されたことは評価できる。</p> <p>また、本市の姉妹都市であるキーウ市をはじめウクライナから避難された方々を市民ぐるみで温かく受け入れ、支援を行っていくための組織である「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」の事務局を中核的に担っていただいていることは大いに評価でき、引き続き本市と協力し、避難者の受入に取り組んでいただきたい。</p> <p>今後は、ウィズコロナの状況下で、現在取り組まれている「京都市における kokoka 日本語教育推進事業」のオンライン日本語クラスなど、オンラインツールを有効に活用した取組を推進し、利用者のサービス向上に努めていただきたい。</p> <p>加えて、貴協会が実施されている事業等に係る認知度を向上させ、より多くの市民等に参加いただくために、更なる広報の強化に取り組んでいただきたい。</p>

2 外郭団体総合調整会議による評価

<p>コロナ禍、ウクライナ侵攻などによる世界情勢の変動に伴い、複雑化・多様化する課題に柔軟に対応するため、外国籍市民の支援、異文化理解を促進するための交流活動、ウクライナからの避難者支援など、多様な事業を実施していることは評価できる。</p> <p>一方、日本語教室のオンライン事業のシステム構築等により事業費が一時的に増加し、令和3年度は再び赤字に転じているが、コロナ禍以前も赤字であったことから、自立的な経営の確立に向けて、財務状況を踏まえた事業の選択と集中、経費の見直しなど、今後の具体的な改善内容を検討し、計画的に取組を進めていただきたい。</p> <p>さらに、当団体が指定管理者である国際交流会館は、「持続可能な施設運営に向けた保有量の最適化方針」（令和4年3月）において、老朽化や京都市の持続可能な行財政運営等を踏まえ、施設のあり方を検討していくことが示されている。これらを踏まえ、当団体には、今後、他施設との連携強化や機能の融合等など、従来の枠に捉われない施策の展開・充実を期待したい。</p>
